

ドノヴァンの脳髓（1953）

DONOVAN'S BRAIN

メディア 映画
ジャンル SF
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 84分
公開情報 劇場未公開・J S Bで放映

【解説】
科学者コーリー夫妻の研究所に運び込まれた飛行機事故の生存者。だが、その人物ー資産家で有名なドノヴァン氏は間もなく死去。脳を培養液に漬け生き長らえさせる研究を行っていたコーリーは、死んだドノヴァンの脳を実験に使う事にする。意識と感情を化学的に解明しようとするコーリーだったが、やがてドノヴァンの脳と彼の意識がシンクロするようになり不思議な行動を取り始めた……。C・シオドマクのSF小説、2度目の映画化（一度目は44年の“THE LADY AND THE MONSTER”、3度目は65年の“THE BRAIN”）。培養液に浸ったドノヴァン氏の脳髓が妖しく光るぐらいで、怪物もUFOもない、非ビジュアルの造りだが、ドノヴァンに操られるコーリーの行動がある種探偵小説的な語り口で描かれており、魅せるストーリーになっている。

【クレジット】

監督	フェリックス・フェイスト	Felix Feist
製作	トム・グライス	Tom Gries
製作総指揮	アラン・ダウリング	Allan Dowling
原作	カート・シオドマク	Curt Siodmak
翻案	ヒュー・ブルック	Hugh Brooke
脚本	フェリックス・フェイスト	Felix Feist
撮影	ジョセフ・バイロック	Joseph Biroc
音楽	エディ・ダンステッター	
出演	リュー・エアーズ	Lew Ayres
	ジーン・エヴァンス	Gene Evans
	スティーヴ・ブロディ	Steve Brodie
	リサ・K・ハワード	Lisa K. Howard
	ナンシー・デイヴィス	Nancy Davis
	トム・パワーズ	Tom Powers